

(書式 1 - 4 - 1 9)

受遺者以外の第三者に管理を行わせる場合の遺言書

遺 言 書

遺言者〇〇〇〇は、次のとおり遺言する。

第 1 条 遺言者は、その所有する次の不動産を、甥〇〇〇〇（昭和〇〇年〇〇月
〇〇日生、住所〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号）に遺贈する。

所 在 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目

地 番 〇〇番地

地 目 宅地

地 積 〇〇〇・〇〇平方メートル

第 2 条 遺言者は、甥〇〇〇〇が前条の不動産の管理を自ら行うことなく、管理
を〇〇〇〇（住所〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号）に委任する
ことを、本遺贈の負担と定める。

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号

遺言者 〇 〇 〇 〇 印

解説

受遺者は、成年者で行為能力もあるが、遺贈財産を管理させることに不安があるなど特別の事情のある場合に、遺言者が管理者を直接に指定することはできないので、第2条のような負担を付けた遺贈とする遺言が考えられる。



* 遺言書の詳細は、<https://ac-souzoku.jp/inheritance/will/> をご覧ください。

弁護士法人朝日中央綜合法律事務所